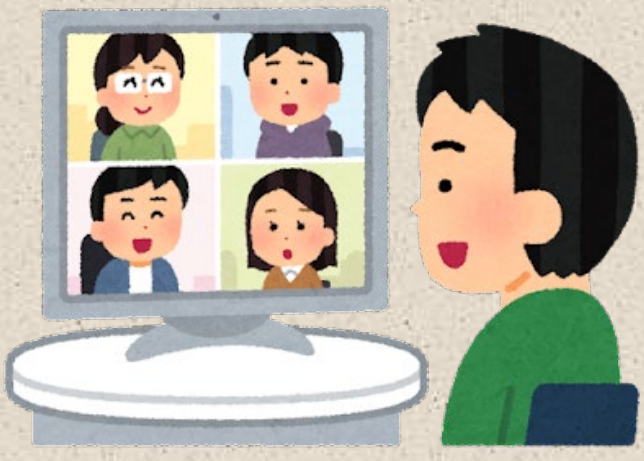
2023年４月　Mさん

「認茶屋（認知症カフェ）」と「介カフェ（ケアラーズカフェ）」

☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘✤☘

先生方が企画して下さり、高齢診療科を受診する患者と家族が集う会として始まった「認茶屋」は、患者が楽しく過ごせる場として盛り上がり始めた矢先に、新型コロナの感染拡大で皆が集まるのが難しくなった。

一方、「認茶屋」の開催中には話し合うことが余り出来なかった介護者同士の集いが、基本的にはZoomを活用したオンライン形式で始まった。

介護者が日頃の悩みや不安を相談出来る場として始まった「介カフェ」では、介護の初心者が長年介護を実践して来たベテランの体験談を聞き、自身の介護に役立てることを目指して居るが、一方で、愚痴を言い合いストレス発散の場としても機能している。